

PRESS RERELEASE

平成 14 年 3 月 25 日

株式会社富士通ラーニングメディア
XML 技術者育成推進委員会事務局

富士通ラーニングメディア、XML 技術教育を強化
～XML 技術者認定制度『XML マスター』の認定を受け
年間 2 千名を目標に XML マスター認定教育コースを展開～

日本最大規模の企業向け研修会社である株式会社富士通ラーニングメディア(本社：東京都大田区、代表取締役社長 金子 武彦)が提供している XML 技術教育コース「XML 基礎 1」コースは、平成 14 年 1 月 XML 技術者育成推進委員会(事務局：東京都品川区、会長：斎藤信男慶應義塾大学常任理事 兼 W3C 2 Associate Chairperson 以下「委員会」)より、『XML マスター；ベーシック』資格取得者向けコースとして認定を受けました。富士通ラーニングメディアでは、e-Japan 構想における官公庁系システム・ニーズはじめとする XML 市場拡大による大量の XML 技術者育成ニーズに対応するため、全国 4 拠点(東京、名古屋、大阪、福岡、)にて『XML マスター』関連コースを実施することを発表しました。

また、親会社である富士通(XML 技術者育成推進委員会 理事会員)は、平成 13 年 4 月に発足した全社横断型のプロジェクト「プロジェクト A-XML」を核に、ブロードバンド・インターネットや「e-Japan 構想」で最も重要な基盤技術の一つである XML の技術開発と普及に取り組んでいます。

昨年度、富士通では、富士通ラーニングメディアに委託し、グループの全社員研修として「XML 適用の基礎知識」を 4 万 5 千名に対して実施。今回はその第二段として上位コースである「XML 基礎」コースの研修を実施し、『XML マスター』の取得を推進します。これにより富士通グループ内全体の XML 技術力の更なる向上とともに e-Japan 構想を中心とした官公庁 XML 案件の受注拡大に向け体制を強化するものです。

「e-Japan 構想」の本格化等により世界標準データ記述言語である XML 技術者のニーズは急速に高まり、多くの大手企業において部門をまたがる全社的採用が浸透してきています。

『XML マスター』は、官公庁系や BtoB(企業間電子商取引)等の XML 市場の拡大に備えた、XML の標準的技術レベルを認定するベンダーに依存しない XML 技術者認定制度です。

委員会では、XML 教育の技量・実績ともに国内トップレベルである富士通ラーニングメディアの『XML マスター』教育ビジネス参画により、『XML マスター』の取得者は大幅に

増加すると考えています。委員会では富士通ラーニングメディアの『XML マスター』認定教育を全面的に支援し、e-Japan 構想に代表される官公庁 XML 案件を支える XML 技術者育成を強力に支援いたします。

XML マスターについて

『XML マスター』は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に発足された認定制度です。現場で役に立つ XML 技術者の育成のための適切な試験範囲と問題内容の審査を行う諮問機関として XML 技術者育成推進委員会が存在します。『XML マスター』の称号により、XML 技術力に対する確かな指標を提供し、現在各分野で深刻化している幅広い知識を持った XML 技術者の不足という問題の解決を促進します。詳細はこちら：
<http://www.xmlmaster.org/>

XML 技術者育成推進委員会について

XML 技術者育成推進委員会は、以下の企業および団体によって構成されます。

XML コンソーシアム

(会長：鶴保 征城 NTT ソフトウェア株式会社 代表取締役社長、会員企業：200 社)

外資系情報産業研究会 (略称：FIIF)

(会長：渡辺邦昭 日本アリバ株式会社 CEO 兼代表取締役会長、会員企業：32 社)

インフォテリア株式会社 (本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野 洋一郎)

NEC ソフト株式会社 (本社：東京都江東区、代表取締役社長：関 隆明)

株式会社大塚商会 (本社：東京都千代田区、取締役社長：大塚 裕司)

株式会社日立システムアンドサービス (本社：東京都大田区、社長：名内泰藏)

株式会社 P F U (東京本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：片野英司)

キャノンソフトウェア株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 明)

シーアイエス株式会社 (東京都港区、代表取締役社長：戸高 修)

日本電気株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役社長：西垣 浩司)

富士通株式会社 (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：秋草 直之)

<お問い合わせ先>

株式会社富士通ラーニングメディア

<http://www.knowledgewing.com/> (ウェブサイト)

講習会受付：0120-55-9019 (電話)

社長室 広報担当 (担当)

XML技術者育成推進委員会事務局 (インフォテリア内)

office@xmlmaster.org (電子メール)

<http://www.xmlmaster.org/> (ウェブサイト)

吉政 (よしまさ) (担当)

【参考資料】

「XML 技術とは」・・・

XML(Extensible Markup Language)は、Web に関連する技術の標準化活動を行っている WWW コンソーシアム(W3C)が規定した、データや文書を記述するためのマークアップ言語であり、さまざまな企業や行政機関が相互に情報を交換する場合にスムーズに作業を遂行する事に向いている。

富士通「プロジェクト A-XML」とは・・・

平成 13 年 4 月に発足、富士通グループ全社員を対象とした XML 技術者の育成を目指すプロジェクト：全グループ 4 万 5 千名の SE に XML の教育を実施。

全グループ 4 千名を試験で選抜、「XML エキスパート」とする。(XML マスターの取得を推進)

さらに選抜し「コンサルティングチーム」を設立、公官庁案件、B2G、B2B 案件への対応力を向上させ、競争力を強化する。

富士通ラーニングメディアについて

年間20万人の研修を行う国内最大規模のIT研修企業である富士通ラーニングメディアでは、XML1.0仕様がW3Cから勧告された1998年より、「XML入門」コースを富士通グループおよび一般企業を対象に開催しています。2002年3月には、本コースの総受講者数約2000名、他のXML関連コースを含めた総受講者数約3500名超と、年々XMLの受講ニーズが高まっています。また現在、富士通の全社員研修である「XML適用の基礎」のコンテンツ開発をはじめとするXMLに関する教材の開発、eラーニング5コース、XMLを利用したシステム構築など16コースの集合教育を提供しています。

認定コース：「XML入門」コース - 「XMLマスター;ベーシック」資格取得者向け認定コース

開催場所：東京・名古屋・大阪・福岡

集客目標：初年度2000人(富士通グループ以外)

今後の展開：

富士通の「プロジェクトA-XML」の下、富士通グループ社員および一般企業人に対してさらなるXML技術者育成を推進することにより、「e-Japan構想」の早期実現に貢献し、今後、XMLを効果的に活用したシステムの提案や設計に関するコースウェアを拡大します。

1)「XML 基礎」コース は、2002 年 4 月より「XML 入門」から名称変更。

2) W3C...World Wide Web Consortium

Web 関連技術の標準化団体。XML 関係の仕様も W3C で標準化されている。